

# 三次市子どもの生活に関する実態調査 結果速報(暫定値)

三次市では、「子育てに夢がもてるまち みよし」をめざし、子育て家庭への支援に役立てるため、三次市の子どもたちの生活実態調査を実施しました。小学6年生、中学3年生、高校2年生年齢のお子さんとその保護者を対象とした調査の結果速報(暫定値)は、以下のとおりです。

## 調査の概要

区 分		小学6年生の世帯	中学3年生の世帯	高校2年生年齢の世帯
調査対象者数	子ども	436人	396人	442人
	保護者	436人	396人	442人
有効回答数 (回答率)	子ども	321人(73.6%)	295人(74.5%)	147人(33.3%)
	保護者	326人(74.8%)	297人(75.0%)	154人(34.8%)
調査対象者	小学校6年生、中学校3年生、高校2年生年齢のお子さんとその保護者			
調査方法	無記名、密封調査			
調査時期	令和5年12月			

### 【本調査における「生活状況」の取り扱いについて】

本調査では、保護者・子どもの生活状況について、全体的な実態を把握するとともに、内閣府の「令和3年 子供の生活状況調査の分析」に合わせ、世帯の年間収入の水準について、同居家族の人数の情報も踏まえて下記のような処理をし、等価世帯収入による分類を行った。

#### ① 等価世帯収入の水準

##### 《算出される基準》

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする(例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする)。
- 上記の値を、保護者票問2で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値(等価世帯収入)の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

# 主な調査結果

## 1 経済的な状況

経済的な状況は、「中央値の2分の1未満」が小学校6年生の世帯で 10.7%、中学校3年生の世帯で 11.1%、高校2年生年齢の世帯で 9.7%であった。また、子どもの親の婚姻状況別で見ると、ひとり親世帯のうち、「中央値の2分の1未満」の割合は、小学校6年生の世帯で 28.9%、中学校3年生の世帯で 52.4%、高校2年生年齢の世帯で 42.9%であった。

区分	小学6年生		中学3年生		高校2年生年齢
	三次市	広島県	三次市	広島県	三次市
中央値の2分の1未満	10.7%	9.1%	11.1%	9.4%	9.7%
中央値の2分の1以上中央値未満	34.0%	33.7%	36.0%	30.1%	31.8%
中央値以上	47.9%	52.5%	47.8%	54.3%	53.9%

※広島県の数値は小学5年生、中学2年生に対して調査を行ったものとなっている。

### <子どもの親の婚姻状況別経済状況>

区分		ふたり親世帯		ひとり親世帯		ひとり親世帯 (母子世帯のみ)	
		三次市	広島県	三次市	広島県	三次市	広島県
中央値の2分の1未満	小学6年生	7.6%	4.9%	28.9%	47.4%	37.1%	52.6%
	中学3年生	4.4%	4.8%	52.4%	47.0%	62.1%	51.6%
	高校2年生年齢	4.6%	—	42.9%	—	31.3%	—
中央値の2分の1以上中央値未満	小学6年生	31.5%	33.9%	51.1%	33.7%	48.6%	31.7%
	中学3年生	35.2%	29.7%	38.1%	34.6%	34.5%	32.6%
	高校2年生年齢	30.5%	—	38.1%	—	50.0%	—
中央値以上	小学6年生	54.0%	56.6%	13.3%	15.2%	8.6%	12.2%
	中学3年生	54.8%	59.6%	9.5%	13.1%	3.4%	10.6%
	高校2年生年齢	61.8%	—	9.5%	—	6.3%	—

※広島県の数値は小学5年生、中学2年生に対して調査を行ったものとなっている。

## 2 子どもの学び

収入の水準が低い世帯は、収入の水準が高い世帯に比べて、学校の授業以外での勉強をしていない子どもの割合がやや多い傾向がみられる。また、収入の水準が低い世帯では、学校の授業が分からないと感じる子どもの割合が多く、自分自身の成績評価が低い。進学したいと思う教育段階についても、大学またはそれ以上の段階まで進学を希望する子どもの割合は、等価世帯収入の水準が低い世帯ほど少なくなっている。

### ① 学校の授業以外の学習状況

- ・学校の授業以外での学習状況について、学校の授業以外で勉強はしない子どもは、小学6年生で5.9%、中学3年生で3.4%、高校2年生年齢で13.6%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯は、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べて、学校の授業以外で勉強はしない子どもの割合がやや多い傾向がみられる。

#### <学校の授業以外での学習状況>

- 小6 「自分で勉強する」:79.4%、「塾で勉強する」:33.6%、「学校の補習を受ける」:1.6%、  
「家庭教師に教えてもらう」:1.6%、「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」:0.6%、  
「家の人に教えてもらう」:37.7%、「友達と勉強する」:21.5%、「その他」:5.6%、  
「学校の授業以外で勉強はしない」:5.9%、不明・無回答:0.9%
- 中3 「自分で勉強する」:83.7%、「塾で勉強する」:40.3%、「学校の補習を受ける」:10.8%、  
「家庭教師に教えてもらう」:2.4%、「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」:1.0%、  
「家の人に教えてもらう」:12.5%、「友達と勉強する」:24.4%、「その他」:3.1%、  
「学校の授業以外で勉強はしない」:3.4%、不明・無回答:1.0%
- 高2 「自分で勉強する」:76.9%、「塾(通信含む)で勉強する」:21.8%、「学校の補習を受ける」:14.3%、  
「家庭教師に教えてもらう」:0.7%、「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」:0.7%、  
「家の人に教えてもらう」:4.8%、「友達と勉強する」:24.5%、「その他」:1.4%、  
「学校の授業以外で勉強はしない」:13.6%、不明・無回答:2.0%

#### <等価世帯収入の水準別>

「学校の授業以外で勉強はしない」と回答した児童生徒の割合

- 小6 中央値の2分の1未満:8.8%、中央値の2分の1以上中央値未満:3.7%、中央値以上:6.6%
- 中3 中央値の2分の1未満:9.7%、中央値の2分の1以上中央値未満:3.0%、中央値以上:2.2%
- 高2 中央値の2分の1未満:21.4%、中央値の2分の1以上中央値未満:13.3%、中央値以上:10.3%

## ② 自分自身によるクラスの中での成績評価

- ・クラスの中での成績について、「やや下のほう」「下のほう」と回答した割合は、小学6年生で25.2%、中学3年生で35.5%、高校2年生年齢で23.8%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯は、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べて、自分自身の成績評価が低い子どもの割合がやや多い傾向がみられる。

### <自分自身によるクラスの中での成績評価>

小6 「上のほう」:9.3%、「やや上のほう」:17.8%、「まん中あたり」:36.4%、  
「やや下のほう」:13.1%、「下のほう」:12.1%、「わからない」:10.3%、不明・無回答:0.9%  
中3 「上のほう」:6.8%、「やや上のほう」:12.2%、「まん中あたり」:38.0%、  
「やや下のほう」:16.9%、「下のほう」:18.6%、「わからない」:7.5%、不明・無回答:0%  
高2 「上のほう」:17.0%、「やや上のほう」:19.7%、「まん中あたり」:30.6%、  
「やや下のほう」:14.3%、「下のほう」:9.5%、「わからない」:8.2%、不明・無回答:0.7%

### <等価世帯収入の水準別>

成績が「下のほう」「やや下のほう」と回答した児童生徒の割合

小6 中央値の2分の1未満:35.3%、中央値の2分の1以上中央値未満:30.9%、中央値以上:19.9%  
中3 中央値の2分の1未満:58.1%、中央値の2分の1以上中央値未満:34.4%、中央値以上:33.6%  
高2 中央値の2分の1未満:28.6%、中央値の2分の1以上中央値未満:22.2%、中央値以上:23.5%

## ③ 学校の授業の理解度

- ・授業が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と感じる子どもは、小学6年生で4.3%、中学3年生で10.5%、高校2年生年齢で8.9%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯では、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ、授業が分からないと感じる子どもの割合がやや多い傾向がみられる。

### <学校の授業の理解状況>

小6 「いつもわかる」:20.6%、「だいたいわかる」:45.8%、  
「教科によってはわからないことがある」:27.1%、「わからないことが多い」:3.4%、  
「ほとんどわからない」:0.9%、不明・無回答:2.2%  
中3 「いつもわかる」:7.5%、「だいたいわかる」:36.9%、  
「教科によってはわからないことがある」:44.7%、「わからないことが多い」:7.8%、  
「ほとんどわからない」:2.7%、不明・無回答:0.3%  
高2 「いつもわかる」:6.8%、「だいたいわかる」:36.1%、  
「教科によってはわからないことがある」:46.3%、「わからないことが多い」:7.5%、  
「ほとんどわからない」:1.4%、不明・無回答:2.0%

### <等価世帯収入の水準別>

授業が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した児童生徒の割合

小6 中央値の2分の1未満:11.8%、中央値の2分の1以上中央値未満:1.9%、中央値以上:4.7%  
中3 中央値の2分の1未満:19.3%、中央値の2分の1以上中央値未満:13.1%、中央値以上:6.6%  
高2 中央値の2分の1未満:0%、中央値の2分の1以上中央値未満:11.1%、中央値以上:8.9%

#### ④ 授業が分からなくなった時期

- ・授業が分からなくなった時期について、小学6年生では「1・2年生のころ」、中学3年生では「小学生5・6年生のころ」、高校2年生年齢では「小学生のころ」までに分からなくなったと回答した子どもの割合は、等価世帯収入の水準では特徴はみられない。

##### <授業が分からなくなった時期>

小6 「1・2年生のころ」:7.9%、「3年生のころ」:9.9%、「4年生のころ」:20.8%、  
「5年生のころ」:29.7%、「6年生になってから」:30.7%、不明・無回答:1.0%  
中3 「小学1・2年生のころ」:2.5%、「小学3・4年生のころ」:2.5%、  
「小学5・6年生のころ」:10.4%、「中学1年生のころ」:29.4%、「中学2年生のころ」:35.0%、  
「中学3年生になってから」:20.2%、不明・無回答:0%  
高2 「小学生のころ」:6.2%、「中学生のころ」:32.1%、「高校1年生のころ」:34.6%、  
「高校2年生になってから」:27.2%、不明・無回答:0%

##### <等価世帯収入の水準別>

授業が分からなくなってきた時期(小学6年生では「1・2年生のころ」までに、中学3年生では「小学生5・6年生のころ」までに、高校2年生年齢では「小学生のころ」までに)の割合

小6 中央値の2分の1未満:7.7%、中央値の2分の1以上中央値未満:11.1%、中央値以上:4.7%  
中3 中央値の2分の1未満:10.0%、中央値の2分の1以上中央値未満:19.7%、中央値以上:15.9%  
高2 中央値の2分の1未満:0%、中央値の2分の1以上中央値未満:8.7%、中央値以上:7.9%

#### ⑤ 進学したいと思う教育段階

- ・将来、どの段階まで進学したいかについて、大学またはそれ以上の段階まで進学を希望する子どもの割合は、小学6年生で30.8%、中学3年生で44.4%、高校2年生年齢で57.8%となっている。
- ・将来、大学またはそれ以上の段階まで進学を希望する子どもの割合は、等価世帯収入の水準が低い世帯ほど少ない。

##### <進学したいと思う教育段階>

小6 「中学まで」:0.3%、「中学、高校」:19.0%、「中学、高校、専門学校」:15.3%、  
「中学、5年制の高等専門学校」:0.3%、「中学、高校、短大」:3.1%、  
「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」:28.3%、  
「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院」:2.5%、「その他」:0.6%、  
「まだわからない」:28.0%、不明・無回答:2.5%  
中3 「中学まで」:0.3%、「中学、高校」:16.9%、「中学、高校、専門学校」:16.6%、  
「中学、5年制の高等専門学校」:2.0%、「中学、高校、短大」:3.1%、  
「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」:42.4%、  
「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院」:2.0%、「その他」:1.0%、  
「まだわからない」:14.9%、不明・無回答:0.7%  
高2 「高校まで」:6.1%、「専門学校」:15.6%、「5年制の高等専門学校」:0%、  
「短大」:3.4%、「大学」:57.8%、「大学院」:0%、「その他」:2.0%、  
「希望するものはない」:2.7%、「まだわからない」:10.9%、不明・無回答:1.4%

##### <等価世帯収入の水準別>

大学またはそれ以上の段階の進学を希望すると回答した児童生徒の割合

小6 中央値の2分の1未満:17.6%、中央値の2分の1以上中央値未満:26.1%、中央値以上:38.4%  
中3 中央値の2分の1未満:19.4%、中央値の2分の1以上中央値未満:35.3%、中央値以上:56.9%  
高2 中央値の2分の1未満:35.7%、中央値の2分の1以上中央値未満:51.1%、中央値以上:69.1%

### 3 子どもの生活習慣・健康状態

収入の水準が低い世帯では、収入の水準が高い世帯に比べて、朝食の欠食や就寝時間が不規則である割合がやや高い傾向がみられる。

#### ① 朝食をとる頻度

- ・朝食をとる頻度について、「毎日食べる(週7日)」と回答した子どもは小学6年生で85.0%、中学3年生で83.7%、高校2年生年齢で78.9%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯では、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ、朝食を毎日食べる子どもの割合がやや少ない傾向がみられる。

##### <朝食をとる頻度>

小6 「毎日食べる(週7日)」:85.0%、「週5~6日」:7.5%、「週3~4日」:1.9%、  
「週1~2日、ほとんど食べない」:4.0%、不明・無回答:1.6%  
中3 「毎日食べる(週7日)」:83.7%、「週5~6日」:9.2%、「週3~4日」:1.0%、  
「週1~2日、ほとんど食べない」:4.4%、不明・無回答:1.7%  
高2 「毎日食べる(週7日)」:78.9%、「週5~6日」:11.6%、「週3~4日」:1.4%、  
「週1~2日、ほとんど食べない」:7.5%、不明・無回答:0.7%

##### <等価世帯収入の水準別>

朝食をとる頻度で「毎日食べる(週7日)」と回答した児童生徒の割合

小6 中央値の2分の1未満:73.5%、中央値の2分の1以上中央値未満:87.9%、中央値以上:84.1%  
中3 中央値の2分の1未満:80.6%、中央値の2分の1以上中央値未満:78.8%、中央値以上:88.3%  
高2 中央値の2分の1未満:50.0%、中央値の2分の1以上中央値未満:84.4%、中央値以上:80.9%

#### ② 平日の就寝時間

- ・平日にほぼ同じ時間に寝ているかについて、「そうである」「どちらかといえばそうである」と回答した子どもは、小学6年生で73.8%、中学3年生で82.7%、高校2年生年齢で83.6%となっている。
- ・小学6年生・中学3年生では、等価世帯収入の水準が低い世帯は、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ、就寝時間が一定である子どもの割合がやや少ない傾向がみられる。

##### <平日の就寝時間について、ほぼ同じ時間に寝ているか>

小6 「そうである」:25.5%、「どちらかといえばそうである」:48.3%、  
「どちらかといえばそうではない」:17.1%、「そうではない」:8.1%、不明・無回答:0.9%  
中3 「そうである」:32.5%、「どちらかといえばそうである」:50.2%、  
「どちらかといえばそうではない」:10.2%、「そうではない」:5.8%、不明・無回答:1.4%  
高2 「そうである」:36.7%、「どちらかといえばそうである」:46.9%、  
「どちらかといえばそうではない」:10.9%、「そうではない」:4.8%、不明・無回答:0.7%

##### <等価世帯収入の水準別>

ほぼ同じ時間に寝ているかについて「そうである」「どちらかといえばそうである」と回答した児童生徒の割合

小6 中央値の2分の1未満:67.7%、中央値の2分の1以上中央値未満:72.0%、中央値以上:77.5%  
中3 中央値の2分の1未満:74.2%、中央値の2分の1以上中央値未満:85.8%、中央値以上:83.2%  
高2 中央値の2分の1未満:85.7%、中央値の2分の1以上中央値未満:88.9%、中央値以上:79.4%

## 4 子どもの生活環境

困りごとや悩みごとについては、「学業成績のこと」や「進路のこと」との回答が多く、中学3年生・高校2年生年齢では、等価世帯収入の水準が低い世帯で、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べて、何らかの困りごとや悩みごとを抱えている子どもの割合が多くなっている。困りごとや悩みごとの相談先で「だれにも相談できない、相談したくない」との回答は等価世帯収入の水準で特徴はみられない。また、家族のお世話については、等価世帯収入の水準が低い世帯で、家族のお世話をしている子どもの割合がやや多い傾向がみられる。

### ① 困りごとや悩みごと

- ・困りごとや悩みごとについては、小学6年生では「学業成績のこと」が21.5%、中学3年生では「学業成績のこと」が51.9%、高校2年生年齢では「進路のこと」が55.1%と多くなっている。
- ・中学3年生・高校2年生年齢では、等価世帯収入の水準が低い世帯は、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ、何らかの困りごとや悩みごとを抱えている子どもの割合が多い。

#### <困りごとや悩みごと>

- 小6 「友人との関係のこと」:16.2%、「学業成績のこと」:21.5%、「進路のこと」:18.7%、  
「塾(通信含む)や習い事ができない」:0.9%、「家庭の経済的状況のこと」:1.6%、  
「自分と家族との関係のこと」:3.1%、  
「家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くない など)」:2.2%、  
「病気や障がいのある家族のこと」:0.3%、「自分のために使える時間が少ない」:4.7%、  
「その他」:3.4%、「特にない」:56.1%、不明・無回答:2.2%
- 中3 「友人との関係のこと」:18.0%、「学業成績のこと」:51.9%、「進路のこと」:50.5%、  
「部活動のこと」:5.4%、「塾(通信含む)や習い事ができない」:1.7%、  
「家庭の経済的状況のこと」:5.8%、「自分と家族との関係のこと」:4.7%、  
「家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くない など)」:4.7%、  
「病気や障がいのある家族のこと」:0.7%、「自分のために使える時間が少ない」:3.1%、  
「その他」:4.7%、「特にない」:27.5%、不明・無回答:1.7%
- 高2 「友人との関係のこと」:10.2%、「学業成績のこと」:42.9%、「進路のこと」:55.1%、  
「部活動のこと」:10.9%、「学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと」:10.9%、  
「塾(通信含む)や習い事ができない」:0.7%、  
「家庭の経済的状況のこと」:9.5%、「自分と家族との関係のこと」:7.5%、  
「家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くない など)」:2.7%、  
「病気や障がいのある家族のこと」:0%、「自分のために使える時間が少ない」:5.4%、  
「その他」:2.7%、「特にない」:27.9%、不明・無回答:1.4%

#### <等価世帯収入の水準別>

困りごとや悩みごとについて、「特にない」以外と回答した児童生徒の割合

- 小6 中央値の2分の1未満:26.5%、中央値の2分の1以上中央値未満:39.3%、中央値以上:44.4%  
中3 中央値の2分の1未満:83.9%、中央値の2分の1以上中央値未満:71.7%、中央値以上:65.7%  
高2 中央値の2分の1未満:78.6%、中央値の2分の1以上中央値未満:71.1%、中央値以上:63.2%

## ② 困りごとや悩みごとの相談先

- ・困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人については、「親」が小学6年生で75.7%、中学3年生で61.7%、高校2年生年齢で66.0%、「学校の友達」が小学6年生で57.6%、中学3年生で62.0%、高校2年生年齢で58.5%と多くなっている。
- ・一方、「だれにも相談できない、相談したくない」と回答した子どもは、小学6年生で5.9%、中学3年生で11.2%、高校2年生年齢で5.4%となっている。
- ・「だれにも相談できない、相談したくない」との回答は、等価世帯収入の水準では特徴はみられない。

### <困りごとや悩みごとを相談できると思う相手>

- 小6 「親」:75.7%、「きょうだい」:27.4%、「祖父母などの親族」:18.7%、「学校の先生」:30.8%、  
「学校の友達」:57.6%、「学校外の友達」:15.9%、  
「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」:10.0%、  
「病院・医療・福祉サービスの人」:2.2%、「その他の大人」:7.8%、  
「ネットで知り合った人」:2.5%、  
「だれにも相談できない、相談したくない」:5.9%、不明・無回答:2.2%
- 中3 「親」:61.7%、「きょうだい」:20.0%、「祖父母などの親族」:10.2%、「学校の先生」:27.8%、  
「学校の友達」:62.0%、「学校外の友達」:16.3%、  
「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」:4.7%、  
「病院・医療・福祉サービスの人」:1.4%、「その他の大人」:5.1%、  
「ネットで知り合った人」:5.8%、  
「だれにも相談できない、相談したくない」:11.2%、不明・無回答:1.4%
- 高2 「親」:66.0%、「きょうだい」:23.8%、「祖父母などの親族」:8.2%、「学校の先生」:30.6%、  
「学校の友達」:58.5%、「学校外の友達」:16.3%、  
「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」:2.7%、  
「病院・医療・福祉サービスの人」:2.0%、「その他の大人」:4.1%、  
「ネットで知り合った人」:3.4%、  
「だれにも相談できない、相談したくない」:5.4%、不明・無回答:2.0%

### <等価世帯収入の水準別>

困っていることや悩みごとがあるときの相談先について、「だれにも相談できない、相談したくない」と回答した児童生徒の割合

- 小6 中央値の2分の1未満:2.9%、中央値の2分の1以上中央値未満:5.6%、中央値以上:4.0%
- 中3 中央値の2分の1未満:6.5%、中央値の2分の1以上中央値未満:14.1%、中央値以上:8.0%
- 高2 中央値の2分の1未満:14.3%、中央値の2分の1以上中央値未満:2.2%、中央値以上:5.9%



### ③ 支援制度・居場所等の利用状況

- ・支援制度,居場所等の利用状況について,「(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所」を利用したことがある子どもは,小学6年生で46.1%,中学3年生で48.1%,高校2年生年齢で52.4%となっている。
- ・等価世帯収入の水準別でみると,「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」を利用したことがある,利用したいと思うとの回答に,特徴はみられない。

<(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況>

小6 「利用したことがある」:46.1%,「利用したことはない,あれば利用したいと思う」:7.5%,  
「利用したことはない,今後も利用したいと思わない」:27.4%,  
「利用したことはない,今後利用したいかどうか分からない」:16.5%,不明・無回答:2.5%

中3 「利用したことがある」:48.1%,「利用したことはない,あれば利用したいと思う」:18.3%,  
「利用したことはない,今後も利用したいと思わない」:13.2%,  
「利用したことはない,今後利用したいかどうか分からない」:18.3%,不明・無回答:2.0%

高2 「利用したことがある」:52.4%,「利用したことはない,あれば利用したいと思う」:12.9%,  
「利用したことはない,今後も利用したいと思わない」:15.6%,  
「利用したことはない,今後利用したいかどうか分からない」:15.6%,不明・無回答:3.4%

<等価世帯収入の水準別>

「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」について,「利用したことがある」または「利用したことはない,あれば利用したいと思う」と回答した児童生徒の割合

小6 中央値の2分の1未満:50.0%,中央値の2分の1以上中央値未満:49.6%,中央値以上:58.9%

中3 中央値の2分の1未満:74.2%,中央値の2分の1以上中央値未満:60.6%,中央値以上:71.6%

高2 中央値の2分の1未満:64.3%,中央値の2分の1以上中央値未満:62.3%,中央値以上:63.2%

### ④ 家族のお世話をしているか

- ・家族のお世話について,「している」と回答した子どもは,小学6年生で8.4%,中学3年生で11.9%,高校2年生年齢で5.4%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯では,等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ,家族のお世話をしている子どもの割合がやや多い傾向がみられる。

<家族のお世話をしているか>

小6 「している」:8.4%,「していない」:90.3%,不明・無回答:1.2%

中3 「している」:11.9%,「していない」:86.4%,不明・無回答:1.7%

高2 「している」:5.4%,「していない」:93.9%,不明・無回答:0.7%

<等価世帯収入の水準別>

家族のお世話について「している」と回答した児童生徒の割合

小6 中央値の2分の1未満:17.6%,中央値の2分の1以上中央値未満:12.1%,中央値以上:4.0%

中3 中央値の2分の1未満:12.9%,中央値の2分の1以上中央値未満:13.1%,中央値以上:10.2%

高2 中央値の2分の1未満:14.3%,中央値の2分の1以上中央値未満:0%,中央値以上:5.9%

⑤ お世話にきつさを感じているか

・お世話にきつさを感じているかについて、何らかのきつさを感じている(「特にきつさは感じていない」以外)と回答した子どもは、小学6年生で 7.4%(2人), 中学3年生で 8.6%(3人), 高校2年生年齢で 25.0%(2人)となっている。

<お世話にきつさを感じているか>

小6 「身体的にきつい」:0%, 「精神的にきつい」:0%, 「時間的余裕がない」:7.4%,  
「特にきつさは感じていない」:88.9%, 不明・無回答:3.7%

中3 「身体的にきつい」:2.9%, 「精神的にきつい」:8.6%, 「時間的余裕がない」:2.9%,  
「特にきつさは感じていない」:85.7%, 不明・無回答:5.7%

高2 「身体的にきつい」:0%, 「精神的にきつい」:12.5%, 「時間的余裕がない」:12.5%,  
「特にきつさは感じていない」:62.5%, 不明・無回答:12.5%

## 5 三次市の取組への希望

### ① 三次市の取組で力を入れてほしいと思うこと(子ども)

・三次市の取組で力を入れてほしいと思うことについては、小学6年生では「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」、中学3年生・高校2年生年齢では「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」と回答した子どもが最も多い。

<三次市の取組で力を入れてほしいと思うこと(子ども)>

小6 「家族のことや自分の生活のことなど悩みごとを相談できること」:7.5%  
「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」:13.4%  
「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」:7.8%  
「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」:27.4%  
「保育所や放課後児童クラブなどの充実」:9.7%  
「無料(低額)の学習支援制度があること」:19.9%  
「家や学校以外の子どもの居場所づくり」:18.4%  
「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」:9.7%  
「家庭への経済的な支援が受けられること」:12.8%  
「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」:33.0%  
「その他」:1.9%、「特にない」:36.1%、不明・無回答:2.5%

中3 「家族のことや自分の生活のことなど悩みごとを相談できること」:6.4%  
「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」:12.2%  
「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」:7.1%  
「就職のための支援が受けられること」:15.9%  
「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」:33.9%  
「保育所や放課後児童クラブなどの充実」:10.2%  
「無料(低額)の学習支援制度があること」:28.1%  
「家や学校以外の子どもの居場所づくり」:19.7%  
「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」:10.8%  
「家庭への経済的な支援が受けられること」:18.0%  
「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」:22.4%  
「その他」:3.4%、「特にない」:32.2%、不明・無回答:3.1%

高2 「家族のことや自分の生活のことなど悩みごとを相談できること」:4.1%  
「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」:6.8%  
「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」:8.8%  
「就職のための支援が受けられること」:18.4%  
「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」:35.4%  
「保育所や放課後児童クラブなどの充実」:8.2%  
「無料(低額)の学習支援制度があること」:25.2%  
「家や学校以外の子どもの居場所づくり」:14.3%  
「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」:10.2%  
「家庭への経済的な支援が受けられること」:17.7%  
「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」:23.1%  
「その他」:4.1%、「特にない」:35.4%、不明・無回答:2.7%

## ② 重要だと思う施策・支援(保護者)

・三次市の取組で力を入れてほしいと思うことについては、小学6年生保護者・中学3年生保護者・高校2年生年齢保護者のいずれも「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」と回答した保護者が最も多い。

### <重要だと思う施策・支援(保護者)>

小6 「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」:28.8%

「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」:19.0%

「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」:13.8%

「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」:28.2%

「就職や転職のための支援が受けられること」:21.5%

「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」:17.5%

「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」:19.3%

「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」:17.2%

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」:65.0%

「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」:45.4%

「保育所や放課後児童クラブなどの充実」:18.7%

「家や学校以外の子どもの居場所づくり」:33.4%

「一時的に必要な資金を借りられること」:15.3%

「子育て支援に関する情報が提供されること」:26.1%

「子どもが体験活動に参加する機会が提供されること」:30.7%

「その他」:3.7%,「特にない」:5.8%,不明・無回答:3.1%

中3 「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」:27.3%

「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」:16.5%

「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」:13.5%

「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」:25.3%

「就職や転職のための支援が受けられること」:21.9%

「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」:18.2%

「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」:15.2%

「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」:14.5%

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」:61.6%

「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」:44.4%

「保育所や放課後児童クラブなどの充実」:18.2%

「家や学校以外の子どもの居場所づくり」:17.8%

「一時的に必要な資金を借りられること」:13.8%

「子育て支援に関する情報が提供されること」:18.5%

「子どもが体験活動に参加する機会が提供されること」:17.8%

「その他」:3.4%,「特にない」:6.1%,不明・無回答:16.5%

- 高2 「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」:27.9%  
「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」:16.2%  
「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」:11.7%  
「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」:26.6%  
「就職や転職のための支援が受けられること」:24.0%  
「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」:13.0%  
「病気や出産, 事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」:17.5%  
「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」:14.3%  
「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」:66.9%  
「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」:33.1%  
「保育所や放課後児童クラブなどの充実」:15.6%  
「家や学校以外の子どもの居場所づくり」:13.0%  
「一時的に必要な資金を借りられること」:23.4%  
「子育て支援に関する情報が提供されること」:19.5%  
「子どもが体験活動に参加する機会が提供されること」:21.4%  
「その他」:3.9%, 「特にない」:5.8%, 不明・無回答:3.9%